



2016年3月期(第52期) 中間決算説明会

サンコーテクノ株式会社

(証券コード: 3435)



- 会社概要
- 2016年3月期(第52期) 第2四半期業績報告
- 当社を取り巻く状況と下半期の取組み
- 2016年3月期(第52期)業績予想

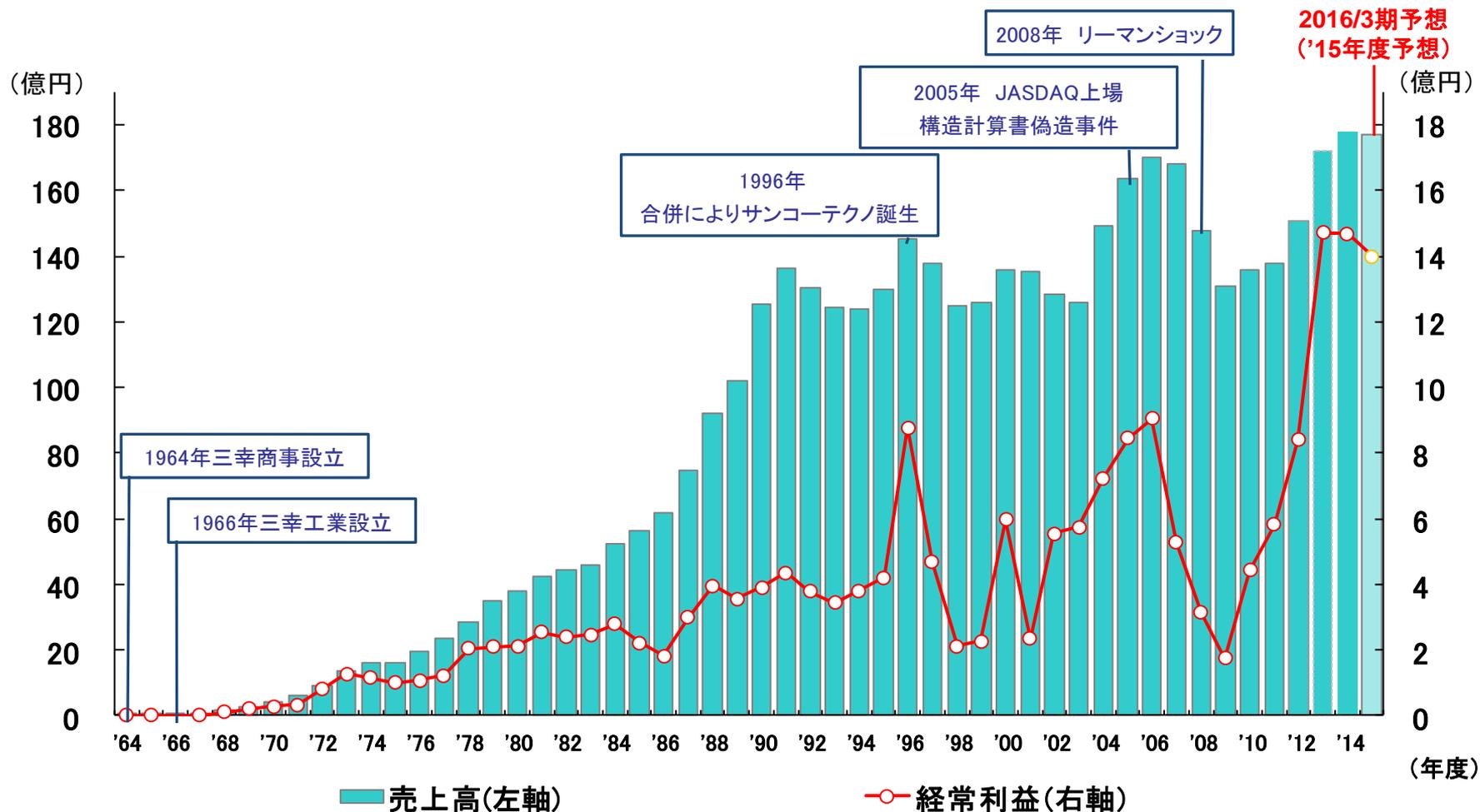


会社概要

社名	サンコーテクノ株式会社(銘柄コード3435)
代表者	洞下 英人 (ほらげ ひでと)
本社所在地	千葉県流山市南流山3-10-16
従業員数	連結592名 単体315名(2015年9月30日現在)
資本金	768百万円
国内拠点	全国20拠点
子会社数	6社(海外3社含む)
設立	1964年5月
市場	東証第二部:2015年5月 (JASDAQ:2005年6月)
主要取扱品目	<ul style="list-style-type: none">■あと施工アンカーを中心とした建設用ファスニング製品■耐震補強・太陽光関連商材・FRP関連商材■油圧工具および各種電動工具・試験機■各種測定器および電子基板関連



売上高/経常利益の推移



* 2002年より連結決算



2016年3月期(第52期) 第2四半期業績報告



業績予想の修正について(2016.11.6発表)

6期連続の売上増を目指すも、建設現場での人手不足の影響、太陽光関連市場の縮小等の影響から、第2四半期(累計)、通期ともに売上高、各利益を下方修正。

2016/3第2四半期(累計)業績(連結)

(百万円)	前年同期実績	期初予想	修正予想	期初予想比		前年同期比	
売上高	8,433	8,670	7,926	▲743	▲8.6%	▲507	▲6.0%
営業利益	710	655	540	▲114	▲17.5%	▲170	▲24.0%
経常利益	689	643	513	▲129	▲20.1%	▲175	▲25.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	443	428	328	▲99	▲23.2%	▲115	▲26.0%

2016/3通期業績予想(連結)

(百万円)	前年同期実績	期初予想	修正予想	期初予想比		前年同期比	
売上高	17,835	18,800	17,700	▲1,100	▲5.9%	▲135	▲0.8%
営業利益	1,511	1,620	1,440	▲180	▲11.1%	▲71	▲4.7%
経常利益	1,509	1,600	1,400	▲200	▲12.5%	▲109	▲7.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,114	1,075	910	▲165	▲15.3%	▲204	▲18.3%

(注) 期初予想: 2015年5月14日公表の2016/3期業績予想



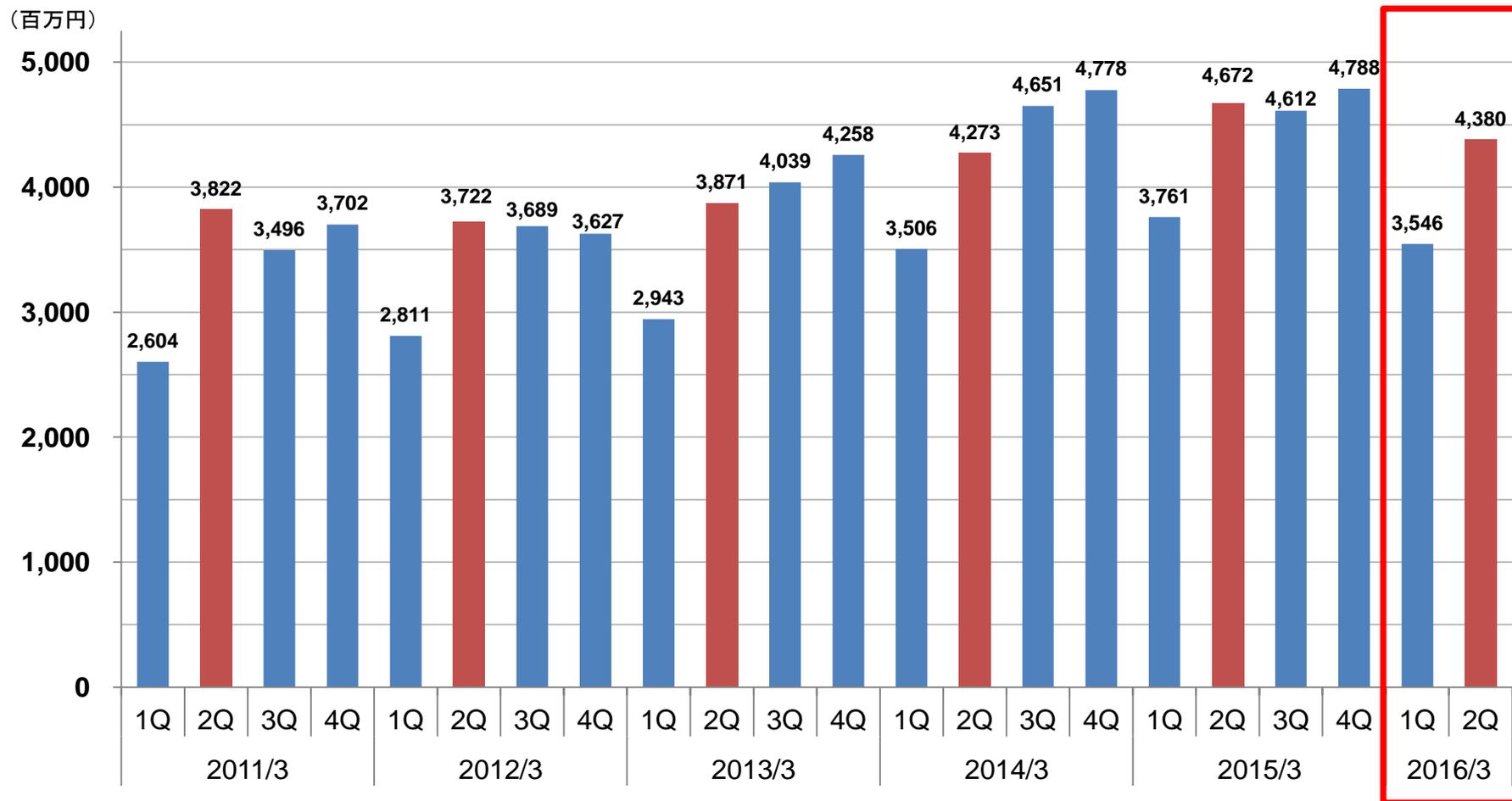
2016年3月期第2四半期(累計)業績【連結】

(百万円)	2014/3 2Q累計実績	2015/3 2Q累計実績	2016/3 2Q累計実績	前年同期比	
売上高	7,779	8,433	7,926	▲506	▲6.0%
売上総利益 (対売上比)	2,444 (31.4)	2,702 (32.0)	2,560 (32.3)	▲141	▲5.2% (+0.2)
販売管理費 (対売上比)	1,880 (24.2)	1,992 (23.6)	2,020 (25.5)	28	1.4% (+1.9)
営業利益 (対売上比)	564 (7.3)	710 (8.4)	540 (6.8)	▲169	▲24.0% (▲1.6)
経常利益 (対売上比)	537 (6.9)	689 (8.2)	513 (6.5)	▲175	▲25.5% (▲0.6)
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (対売上比)	311 (4.0)	443 (5.3)	328 (4.2)	▲114	▲26.0% (▲1.1)



四半期別 売上高推移【連結】

建設用ファスニング製品の需要鈍化に加え、太陽光関連の工事、材販の減少が影響
⇒2016/3期第1Q:前年同期比▲5.7%、同第2Q:前年同期比▲6.2%





セグメント別 2016年3月期第2四半期業績【連結】

セグメント		(百万円)	2014/3 2Q累計実績	2015/3 2Q累計実績	2016/3 2Q累計実績	前年同期比	
ファスニング 事業	売上高		5,895	6,493	5,935	▲558	▲8.6%
	セグメント 利益		757	911	754	▲156	▲17.2%
機能材事業	売上高		2,073	2,205	2,183	▲21	▲1.0%
	セグメント 利益		246	273	257	▲15	▲5.7%
計	売上高		7,969	8,699	8,119	▲579	▲6.7%
	セグメント 利益		1,004	1,184	1,012	▲172	▲14.5%
調整額	売上高		▲189	▲265	▲192	—	—
	セグメント 利益		▲439	▲473	▲471	—	—
合計	売上高		7,779	8,433	7,926	▲507	▲6.0%
	営業利益		564	710	540	▲170	▲24.0%

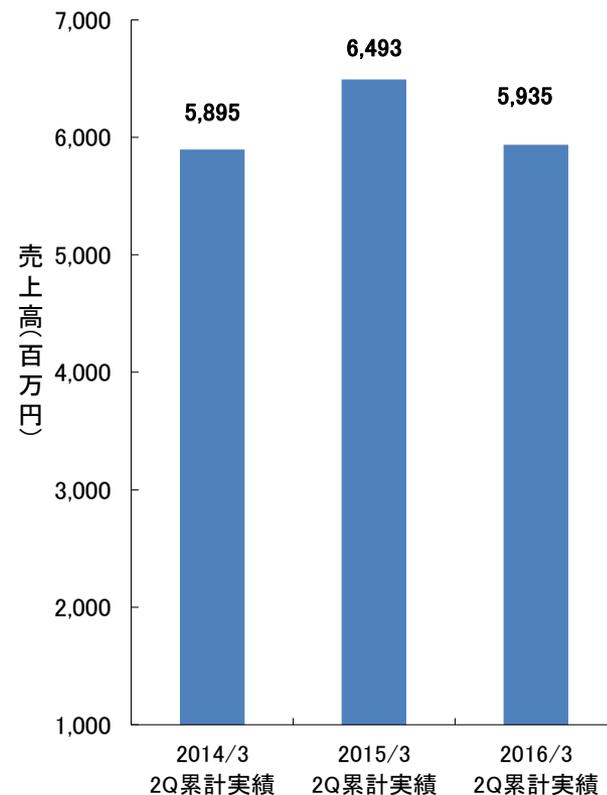
※2014年3月期/2015年3月期は新セグメントに組み替えて算出



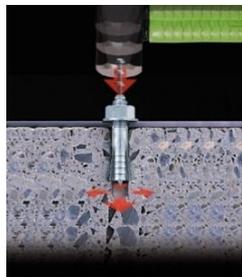
ファスニング事業

あと施工アンカー、ドリルビットの開発・製造・販売
および太陽光関連・土木建築関連(耐震工事他)の工事管理等

(百万円)	2014/3 2Q累計 実績	2015/3 2Q累計 実績	2016/3 2Q累計 実績	前年同期比	
売上高	5,895	6,493	5,935	▲558	▲8.6%
セグメント 利益	757	911	754	▲156	▲17.2%



- ◆太陽光関連市場の縮小
- ◆マンションや商業施設の需要が鈍化
- ◆金属系・接着系あと施工アンカーの販売が低調に推移

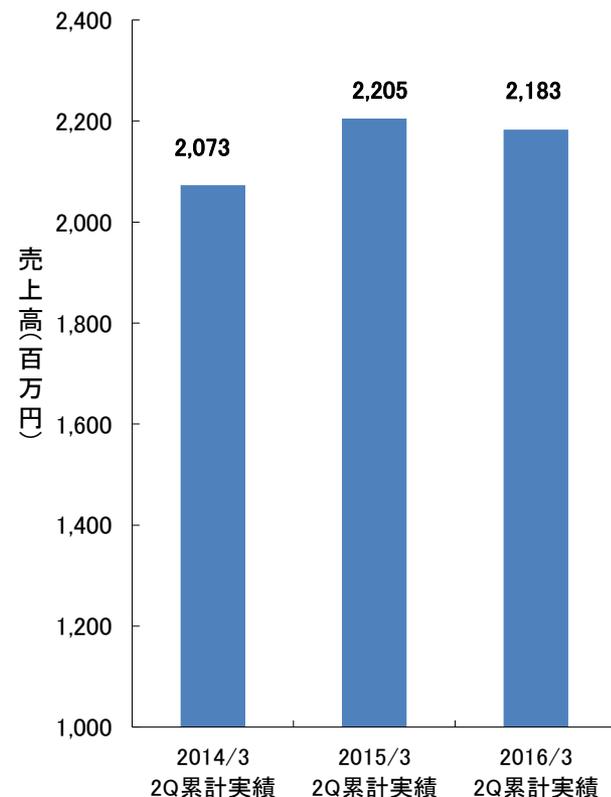




機能材事業

電動油圧工具関連、FRP関連および車両の表示板等の
電子プリント基板や各種測定器の製造・販売

(百万円)	2014/3 2Q累計 実績	2015/3 2Q累計 実績	2016/3 2Q累計 実績	前年同期比	
売上高	2,073	2,205	2,183	▲21	▲1.0%
セグメント 利益	246	273	257	▲15	▲5.7%



- ◇電動油圧工具関連は、海外販売が好調に推移
- ◇電子基板関連・アルコール測定器の販売は好調に推移
- ◆FRP関連は前年とほぼ同水準で推移





当社を取り巻く状況と 下半期の取組み

ファスニング事業 当社を取り巻く状況と下半期取組み



①

- ・太陽光関連市場の縮小
- ・コスト競争の激化



- ・52期は独自工法(一面耐震補強工事等)に切替え、工事全体での計画達成を目指す
- ・傾斜地(法面)等の施工しにくい案件に特化した提案を推進



②

- ・建設現場での人材不足による工期の遅れ
- ・ゼネコンの採算性重視物件へのシフト



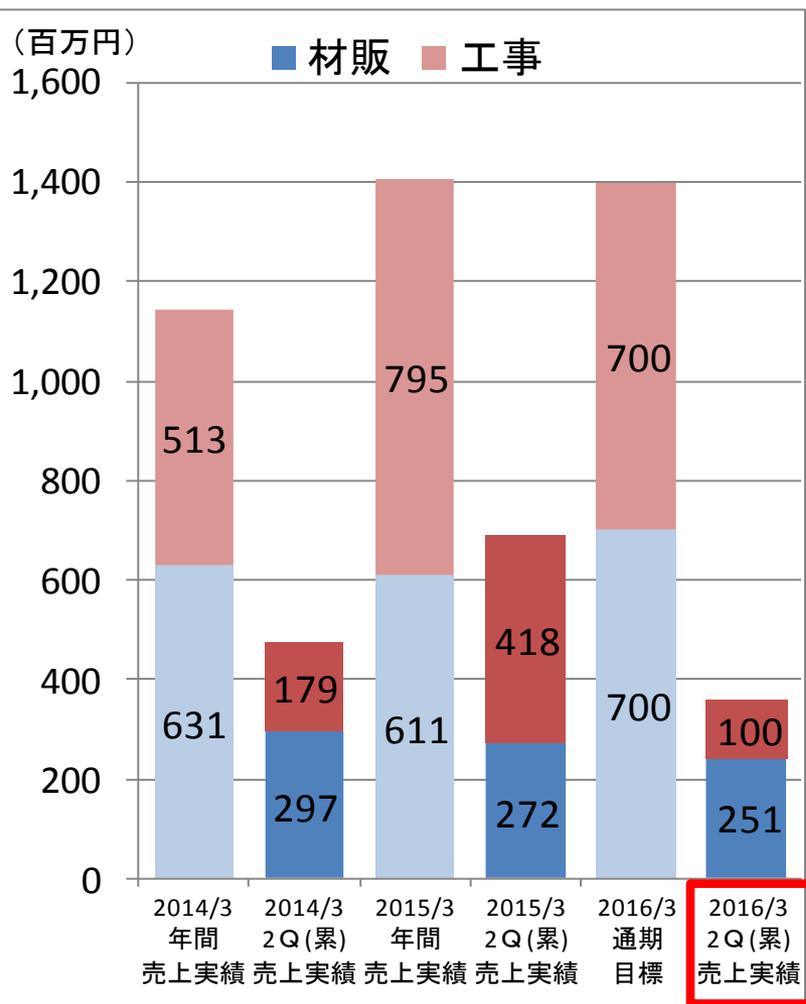
- ・土木分野に向けた製品・工法開発・設計折込(スペック)へ向けた取組み推進
- ・JCAA製品認証取得による信頼度向上(メタルセーフアンカー:10月取得)
- ・製品・工法の用途拡大
- ・土木関連の展示会へ出展・PR



※組織変更(ファスニング事業に工事部門を統合)⇒これまで以上に現場の声を活かした製品開発を推進



ファスニング事業 太陽光関連 実績推移



(百万円)	2014/3 2Q(累) 売上 実績	2015/3 2Q(累) 売上 実績	2016/3 2Q(累) 売上 実績	2016/3 通期 目標 期初	計画 進捗率
太陽光関連 材販売上高	297	272	251	700	35.9%
太陽光関連 工事売上高	179	418	100	700	14.2%
合計	476	690	351	1,400	25.0%

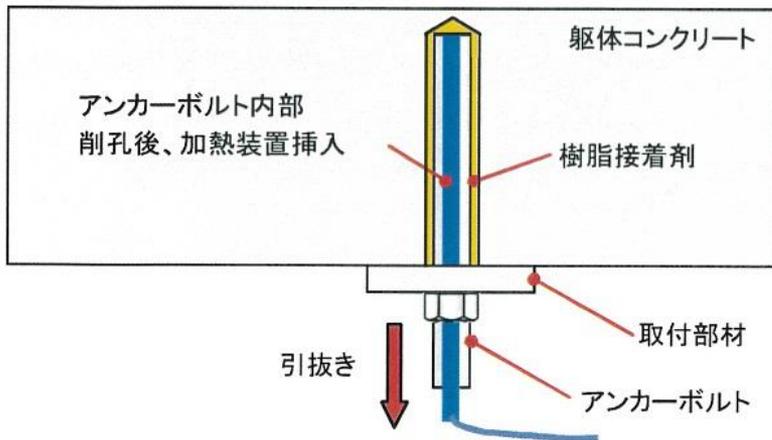
太陽光関連の市場縮小・メガソーラー受注減
2Q累計の工事実績は進行基準で100百万円



ファスニング事業 製品・工法の用途拡大①

●樹脂接着系アンカーボルトの更新工法

⇒インフラ構造物のリニューアル・耐震工事に



(株)大林組・サンコーテクノ(株)共同開発工法

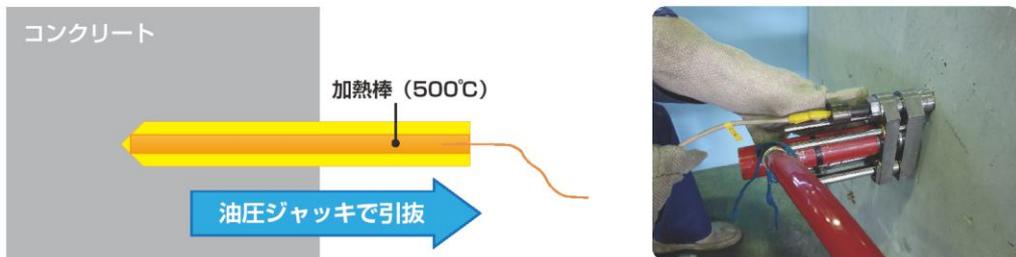
(平成26年9月9日リリース)

某所にて採用⇒施工システム確立へ

既設ボルトへの穿孔



ボルトへの加熱・加圧による引抜



抜取～アンカーボルト更新





ファスニング事業 製品・工法の用途拡大②

●ディー・アーススクリューから派生→マルチスクリュー



傾斜面への**太陽光発電工事**に
ダイレクトアース工法
製品認証取得済

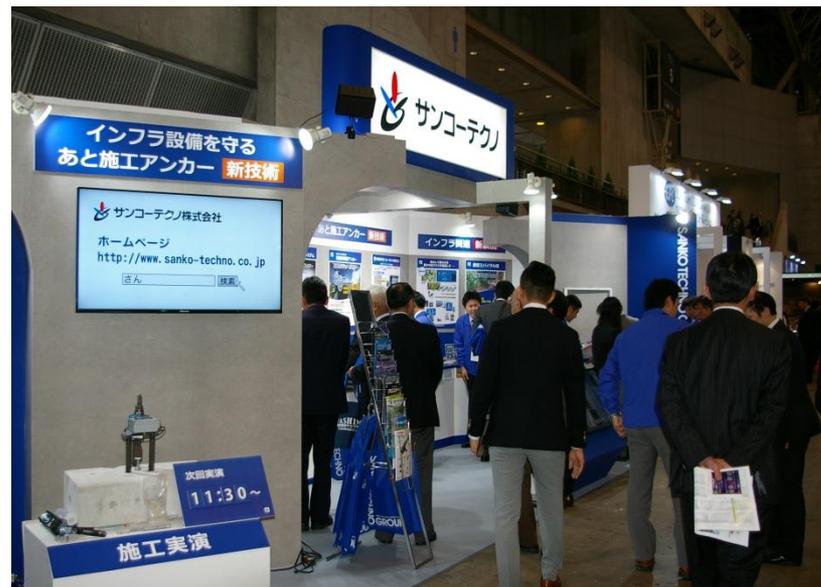


高速道路等の
立入防止柵工事に
現在スペック中





ファスニング事業 土木分野の展示会へ出展・PR



日程	展示会名
7月29～31日	PVジャパン
11月11～13日	鉄道技術展
【今後の出展】 11月25・26日	ハイウェイテクノフェア



機能材事業

●FRP関連
ガソリタンク補修事業は
ほぼ終了



環境配慮型e-シートクイックと
e-テクプライマーとのセット販売
⇒環境配慮型製品の特長を活か
した新たな用途展開(浴室改修等)

●アルコール測定器
法令化による
切替え時期へ



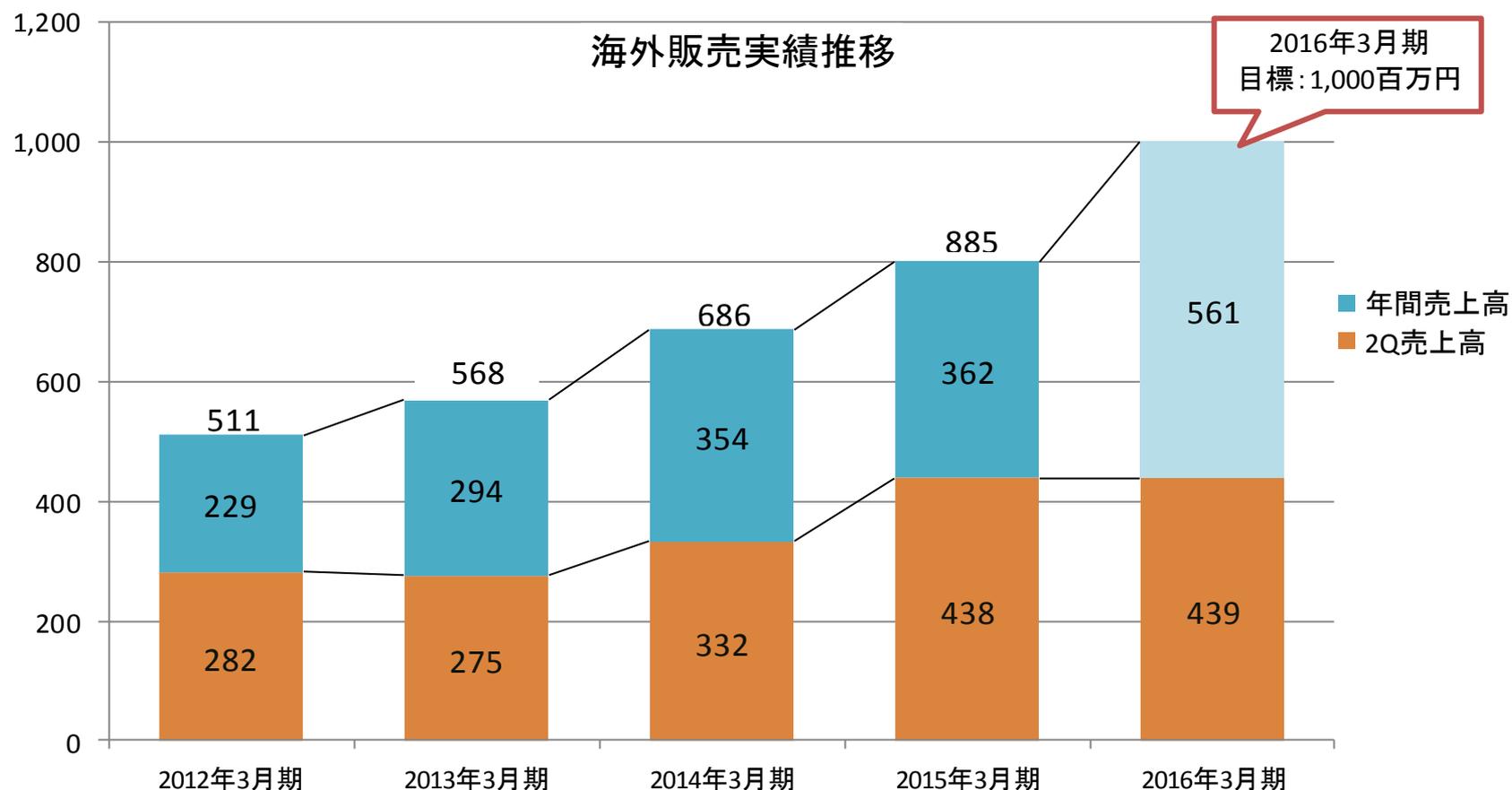
接触燃焼式から燃料電池式へ
シフト
新製品ST-3000へ切り替え
⇒営業人員増による販売強化

●電動油圧工具
円安基調により海外売上は18%増、国内市場は前年並み



海外販売実績推移

電動油圧工具の電動工具は18%増。ただしアンカー関連の海外販売が鈍化したため、2016/3期2Q売上高(累計)は前年並みとなっている





2016年3月期(第52期) 業績予想



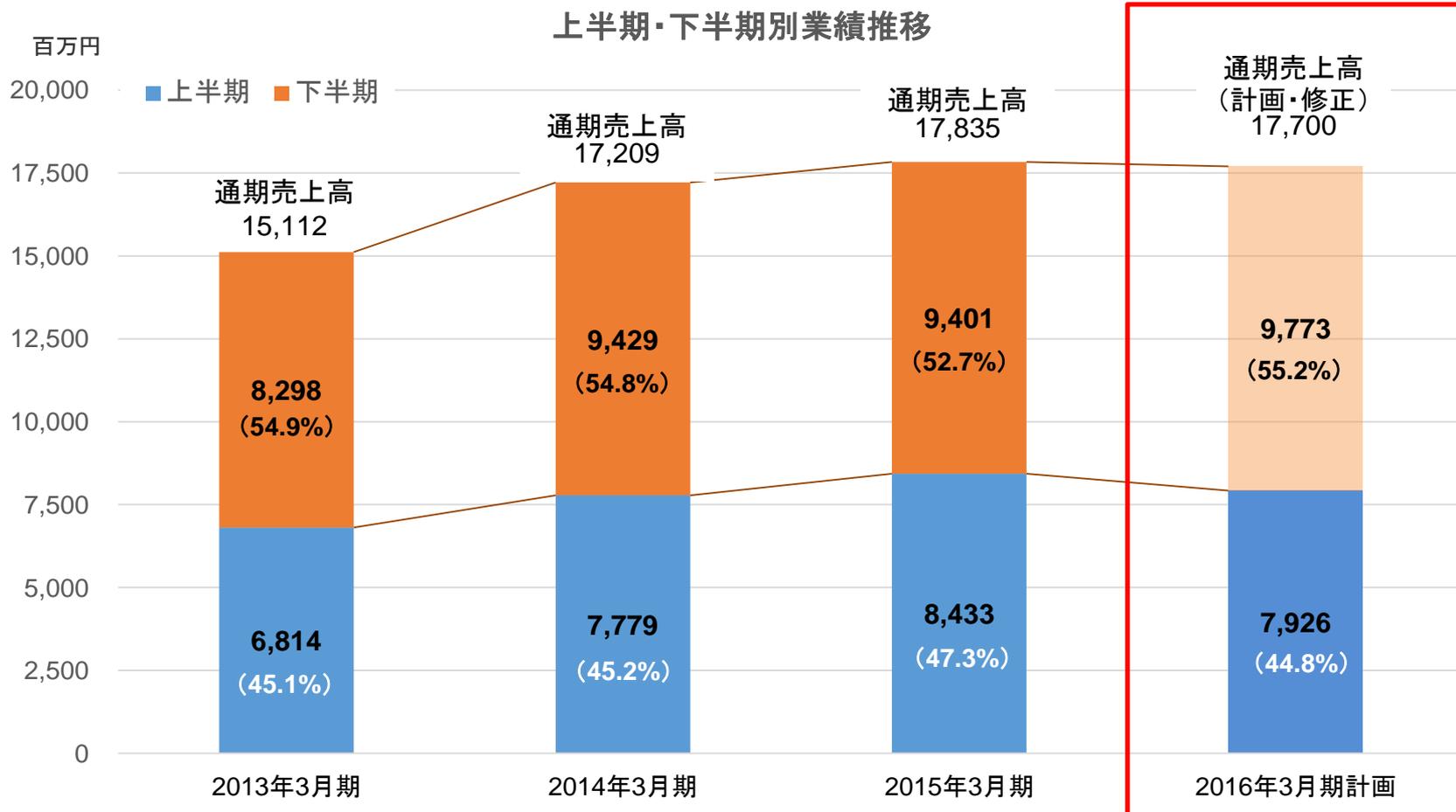
2016年3月期 通期業績【連結】

(百万円)	2014/3通期 実績	2015/3通期 実績	2016/3通期 計画	前年同期比	
売上高	17,209	17,835	17,700	▲135	▲0.8%
売上総利益 (対売上比)	5,437 (31.6)	5,643 (31.6)	5,640 (31.9)	▲3	▲0.1% (+0.3)
販売管理費 (対売上比)	3,923 (22.8)	4,132 (23.2)	4,200 (23.7)	67	1.6% (+0.5)
営業利益 (対売上比)	1,513 (8.8)	1,511 (8.5)	1,440 (8.1)	▲71	▲4.7% (▲0.4)
経常利益 (対売上比)	1,472 (8.6)	1,509 (8.5)	1,400 (7.9)	▲109	▲7.2% (▲0.6)
親会社株主に帰属 する当期純利益 (対売上比)	910 (5.3)	1,114 (6.2)	910 (5.1)	▲204	▲18.3% (▲1.1)



上期・下期別業績推移と計画

土木分野におけるスペック活動・工事物件の獲得へ注力し、売上の確保を目指す
アルコール測定器の切替え強化





新中期経営ビジョン

Go for NEXT

S.T.G VISION 2020

私たちは ^{ファスニング}独自の締結システムで、
安全・安心を提供するモノづくり集団を追究します

お客様へ...

お客様の期待を超える価値創造を実践し、“SANKOブランド=人”を実現
します

お取引先様へ...

共育・共創・共生をキーワードに共鳴し合える関係を構築します

社会へ...

事業を通じて、安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献します

株主様へ...

持続的な利益創出と株主還元により企業価値の向上を図ります

社員へ...

自身の成長とチームの達成感(喜び)を共有できる職場環境を構築します

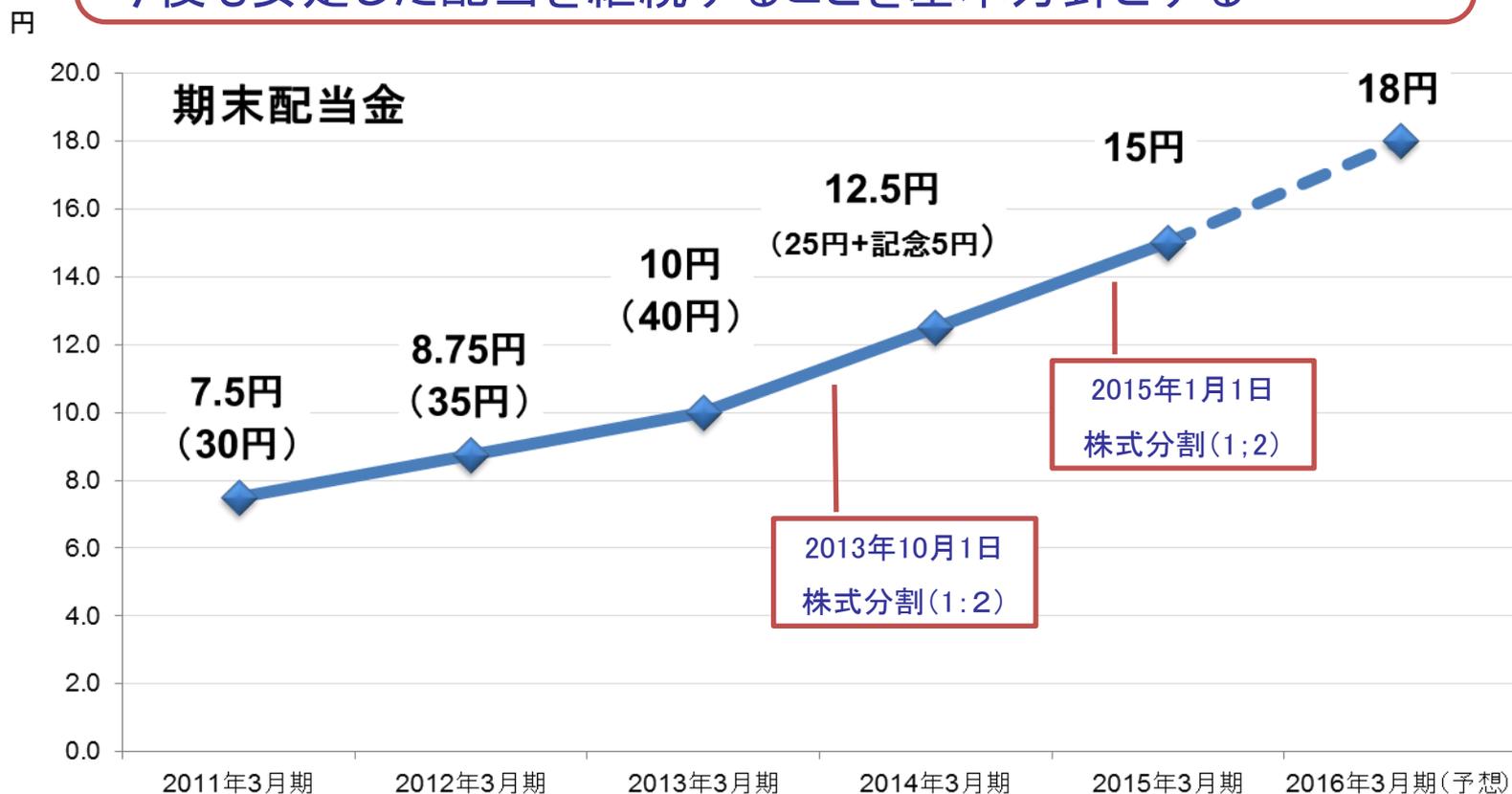
5つの視点



株主還元

配当予想は18円。期初の計画から変更なし

今後も安定した配当を継続することを基本方針とする



※2013年10月1日、2015年1月1日を効力発生日として、それぞれ1:2の株式分割を実施。そのため、2014年3月期以前の配当状況はこれらの分割に伴う影響を加味し遡及修正を行った場合の金額を記載。なお、配当実績は()書きで記載



ご清聴ありがとうございました。

- 本資料はサンコーテクノ株式会社の事業及び業界動向についてのサンコーテクノ株式会社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいてサンコーテクノ株式会社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

サンコーテクノ株式会社